

平成24年度事業報告

高松市塩江美術館

□ 展覧会

ア 開催展数 11展（内訳 企画展 8展・常設展3期）

イ 開催延日数 568日間

ウ 入場者延数 12,668人（1日平均22.3人）

エ 主催展一覧

□ 企画展 開催展数：8展 開催日数：268日間 入場者数：6,446人（1日平均24.1人）

展覧会名	会期	日数	入場者数	展覧会の内容
塩江アートプロジェクト 長野由美展 たまご響会	3/31（土）～ 5/13（日）	38日	954人 (25.1)	香川に縁のある作家の活動を紹介する塩江アートプロジェクト10人目の作家。造形作家長野由美のつくる「たまご」を素材とした作品を中心に、身近な素材、卵と鑑賞者が響き合う展示を開催。
小林正六展 遠い日	5/19（土）～ 6/17（日）	26日	553人 (21.2)	教員として高松市に勤めながら、数多くの絵画を制作した小林正六氏の作品を紹介。塩江美術館へ寄贈された油彩画を中心に、遺族からお借りした作品など29点の作品を展示。同時開催の常設展第1期（4/27～8/26）でも小林作品を3点展示。
国際子ども秀作絵画展	7/5（木）～ 7/22（日）	16日	393人 (24.5)	文部科学省が後援した全国規模のコンクールの中から、8団体の協力のもと、167点展示。本年度は、新たに地球環境世界児童画コンテスト事務局が加わり、児童憲章愛の会の出品がありません。網走市立美術館、MOA美術館へ巡回。
藤原慎治展	8/4（土）～ 9/17（月祝）	39日	1,424人 (36.5)	香川を拠点に、大阪や東京で作品を発表している香川県小豆島出身の美術家・藤原慎治の展覧会を開催。
いにしえのわが故郷 展	9/22（土）～ 10/21（日）	26日	460人 (17.7)	所蔵作品の中から、香川・四国を描いた木版画作品を47点展示。歌川広重《六十余州名所図会『讃岐象頭山

				遠望』や川瀬巴水『高松栗林公園』など、150年の時間を通して描かれた名所・名物・風景作品を展示。
所幸則 One Second 2008-2012	10/26 (金) ~ 12/9 (日)	39 日	1,139 人 (29.2)	国内外で活躍する高松市出身の写真家所幸則は、時代の先端をいくコマースシャルフォトを数多く撮影してきた。2007年より、活動拠点とする渋谷の街を白黒で撮影し始め、2008年より1秒という時間で風景を撮影する手法による制作を開始した。本展では、「One Second」シリーズの作品を33点展示。
風の伝言プロジェクト I 四国こどもとおとなの医療 センターのこころみ展	12/14 (金) ~ 2/3 (日)	40 日	597 人 (14.9)	平成25年5月に善通寺市に開院予定の「四国こどもとおとなの医療センター」に展示するために、「祈り」「寄り添い」「待つ」ことをテーマに描かれた絵画300点のうちから87点を展示し、ホスピタルアートの紹介を行う。
シンクロー風景の同時性ー 南条嘉毅展	2/9 (土) ~ 3/31 (日)	44 日	926 人 (21.0)	香川県坂出市出身、東京都在住の美術家南条嘉毅の香川で初となる個展を開催。「富士山」「伊勢詣で」など伝統的なモチーフや風景を、現代的な新しい視点で捉えて制作する。その場の土や写真を採取し、細分化して絵画描く。新潟の信濃川を題材とした絵画や塩江、高松の土を使ったインスタレーション作品など23点展示。

- 常設展 (3期) 開催日数：300日間 入場者数：6,222人 (1日平均20.7人)
美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示する。

展覧会名	会期	日数	入場者数	展覧会の内容
平成24年度 第1期 人のいる景色 展	4/27 (金) ~ 8/26 (日)	105 日	2,441 人 (23.2)	香川に縁のある作家たちにより、様々な手法で表現された人物の作品を油彩画、スケッチ、版画、工芸、彫刻などの分野から30点展示。

平成 24 年度 第 2 期 熊野俊一 自選作品展	8/30 (木) ～ 1/14 (月 祝)	114 日	2,436 人 (21.3)	塩江町出身の洋画家・熊野俊一は、生涯に 12 回の洋行・滞在を重ねて数多くの油彩画を遺しました。今展では、画家自らが選んだ名作を 28 点展示。
平成 24 年度 第 3 期 旅の風景展	1/18 (金) ～ 4/21 (日)	81 日	1,345 人 (16.6)	塩江町出身の洋画家・熊野俊一と写真家の比喜良治の作品から旅をテーマにした作品を開催。

※赤文字以外数字確認OK

□ 美術講座

平成 24 年度では、陶芸教室、風鈴作り教室に加えて、ワークショップ 11 講座を開講した。

ア ワークショップ

タイトル	開催月日	講師	内容	受講者数
(企画展関連) 石を使って いきものづくり	8 月 11 日 13:00～ 15:00	藤原慎治 (美術家)	小学生を対象としたワークショップ。美術館の小川の石を広い、動物の形のレリーフを組み立て・着色する。	16 人
(企画展関連) けしゴムはんこの 蔵書票	9 月 29 日 13:00～ 15:00	今井まいこ (はんこ作家)	所蔵品よる版画展「いにしへのわが故郷展」関連企画として、小さな版画・けしゴムはんこを制作。子どもから大人まで、オリジナルのエクスリブリス(蔵書票)を制作し、お気に入りの本に付けた。	11 人
(企画展関連) 1 秒で被写体になろう	11 月 4 日 13:00～ 15:00	所幸則 (写真家)	参加者が実際に被写体として動き、所幸則氏の撮影を体験する講座。グループ毎での参加希望者を募った。	5 組 15 人
(企画展関連) 学校訪問ワークショップ 塩江の土で描く	2 月 5 日 9:25～ 11:05 (3,4 時 間目)	南条嘉毅 (美術家)	塩江小学校の 3,4 年生を対象に土を素材として絵を描くワークショップを開催。身近な家や畑の土を持ち寄り、絵具をつくり、「塩江土マップ」を作成。また、庭を散策して集めた葉っぱや枝などで自由に絵を描く。	14 人

(企画展関連) 土パステル作り	2月10日 14:00～ 16:00	南条嘉毅 (美術家)	乾かした土を持ち寄り、ふるいにかけて身近な素材を使って自然の色のパステルを制作。完成したパステルを参加者同志で交換して色数を増やす。	5人
--------------------	--------------------------	---------------	--	----

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容	受講者数
風鈴づくり 教室	7月22日 午前 10:00～12:00 午後 14:00～16:00	貴志 勉 (陶芸家)	陶土でオリジナルの風鈴を1人1～2個制作。本年は白い陶土を使い、青・ピンク・黄色で飾りを付けた。作品は乾燥後、素焼き・本焼をして後日お渡しする。	延べ31人
田淵太郎の 陶芸教室	10月8, 15, 22, 29日 11月19, 26日、 (午前10時～ 12時半)	田淵 太郎 (陶芸家)	全6回の授業で基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作する。基礎コースでは基本的な陶芸作品を制作体験し、経験者コースでは講師の指導を受けながら、自分の作りたい作品を制作。	16人 (16x6回 =96人)
(企画展関連) 土のプレート 作り	3月17日	貴志 勉 (陶芸家)	自宅や学校など思い出の土を陶土に混ぜて、表札やお皿などのプレートを制作。	15人

ウ 芸術的催し物

音楽コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催。

タイトル	開催月日	料金	内容	入場者数
ダンスコラボレ ーション	4月28日(土) 13:00～17:00	無料 (ただし入館料 が必要)	塩江アートプロジェクト長野由美展たまご響会関連イベント。 「Close? or Open?」などの長野作品を舞台に、「生と死」「始まりと終わり」をテーマとしたダンスコラボレーション。 出演：岡尾麻衣、長野由美 演出：岡本麻郁 音楽：田中昭全 協力：四国学院大学 身体と舞台芸術マネジメントメジャー	36人

所幸則 アーティスト・ トーク (小学生対象)	10月26日(金) 9:15~11:50	無料	栗林小学校3年生6クラスの美術館訪問にあわせて、所氏のトークを開催。1クラス毎に写真作品を鑑賞し、作品制作にまつわる話を聞き、作家と会話することで作品に対する理解を深める。	200人
所幸則 アーティスト・ トーク	10月28日(日) 14:00~	無料 (ただし入館料 が必要)	住み慣れた渋谷の街をモノクロで撮影し、瞬間ではなく時間の流れを1枚の写真の中に取り入れる「One Second」のシリーズを制作する所幸則氏による作品にまつわるトークを開催。	50人
風の伝言 プロジェクトI オープニング イベント ウィンター コンサート 重松壮一郎	12月14日(日) 12:30 開場 13:00 開演 14:30 終了	500円 小学生以下無料	企画展「四国こどもとおとなの医療センターのこころみ 風の伝言プロジェクトI」のオープニングイベントとして、ウィンターコンサートを開催。作曲家、ピアニストの重松氏の演奏のほか、ホスピタルアートを積極的に医療の現場に取り入れる医療センター院長中川義信氏とプロジェクトディレクターの森合音氏、京都教育大学日野陽子教授の短い講演と、徳島県立文学書道館の有志による朗読、ピアノ演奏。	51人

□その他

ア 貸 館

企画展示室・ホール・陶芸館

	行事名	会 期	入場者数	内 容
企画 展示室	北添繁幸 木彫刻展	6/19(火)~ 7/1(日)	146人	彫刻創型会、日本・フランス現代美術展への参加のほか、四国を中心に展覧会を開催している高知県出身、香川県在住の北添氏による個展。入場料無料

企画 展示室	第2回 堀下修竹展 自然に抱かれて	7/25（水）～ 7/29（日）	179人	香川県出身・在住の堀下氏が75歳を迎えた記念として、山・川・水の美しさに魅せられ、心象風景を描いた水彩画作品を約20点展示。入場料無料
-----------	-------------------------	---------------------	------	---

イ 美術館の日【毎年8月第1土曜日・無料の日】

8月第1土曜日を「美術館の日」と定め、展覧会（企画展：藤原慎治展、常設展：人のいる景色展）の観覧料を無料にしたほか、企画展関連ワークショップとして「風に乗る種をつくろう」を開催。

8月4日（土）

参加人数：入場者数 170人、ワークショップ 約80人